

在宅取組型（中学校）

学校名等	安八町立登龍中学校
実施日時	令和3年8月(夏季休業中)
会場	各家庭
参加人数	全校生徒(302名)・保護者
学習課題(分野)	家族の食事をつくろう(家族の大切さ)
運営者の願い	家族と一緒に、調理することで、ふれあいの時間をもち、日頃、食事を作ってくれる家族や食材への感謝の気持ちをもつとともに達成感や自己肯定感を高めさせたい。

学習の内容

<取組の流れ>

- (1) 7月…取組について、保護者に文書でお願いする。
- (2) 取組表の配付をし、各家庭で夏季休業中に実施。内容は、家庭での食事を家族と相談しながら作り、取組表に実践内容や感想を書くもの。
- (3) 母親委員会で取組表の分別や集計を行う。
- (4) 全校生徒、および保護者に実践内容の紹介と報告を兼ねたまとめの文書を作成し、配付した。

【各家庭の実践例】



<アンケートより>

○生徒

- ・ 食事はよく作りますが、改めて思うことは、栄養バランスを考えて作るのには、私にとって難しく、時間がかかるということです。今日はおいしいを目当てに作ったけど、バランスを考えながら作るのも速いお母さんはすごいと感じます。
- ・ 材料の準備から片付けまでやると、とても疲れることがわかりました。これからはなるべく手伝いができるようにしたいです。

○保護者

- ・ 夏休み中に作れるレパートリーが増えて助かりました。冷蔵庫の残り物の食材を使ってご飯作りができるようになり、さすが中学生なんだなと思いました。いつもありがとう😊
- ・ 一人で作るより二人で作ると楽しいね。また時間があるときは手伝ってね。一人でつくれるようになったらごちそうしてね。
- ・ 包丁で指を切らないか、炒める時にやけどしないかハラハラしながら見守っていました。



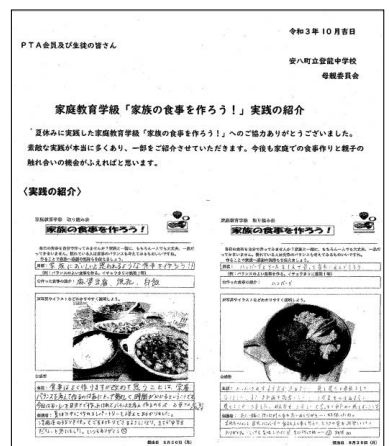
全家庭対象の取組

今年度も、いろいろな制約のある夏休みでしたが、親子でできる交流、ふれあいの場になるようにと願い、家庭料理の実践を全校親子対象で計画しました。



取組みやすい内容

各家庭や個々の生徒ができる範囲で計画を立てたことにより、多くの実践を進めることができました。「また、次もやってみよう。」と思う感想を多くの生徒がもつことができました。保護者からも成長を感じる声が多く届きました。



実践の一部をお便りで紹介しました。

